

マイスターに
聞く
Meister

157

櫻製作所・製造部川西事業所所長

溶接

元木 教貴さん



櫻製作所（大阪市淀

川区、井上正基社長、

06・63302・53

21）は、熱交換器や

粉末化、攪拌装置など

プラント機器を得意と

する。元木教貴さん

（41）は本社のある淀川

区生まれ。高校の普通

科を卒業後、手に職を

つけたくなり「溶接が

良い」と、何も知らな

いまま同社に入った。

現場には「楽しそう

という印象を持ったと

いう。

井上社長の評価は

「技を盗むのが上

手」。「まずやってみ

ろ、という社風に助け

られた」と元木さんが

話すように、親方たち

が溶接や機械加工、組

み立てを行う様子を見

て、チャレンジした。

やってみて、技術の懸

技盗み研鑽 後継教育にも意欲

い部分を先輩から指摘 注生産で「同じものが
され、直す。繰り返さないことと、高い材料
ながら技を磨いていっ
た。20年以上の研鑽に
の確みを考えて作業す
より、今では櫻製作所
るのも大変」（同）と昔
での多能工の先駆けと
して活躍している。

溶接はステンレス材
プレッシャーとなる。

が中心。塗装がないむ
き出しの材料を溶接す
るため「顧客は外観に
対して厳しい」（元木
さん）。やり直しもき
かない。目で技を盗む
ことに加え、端材を使
って練習を繰り返して
3年ほどで納得しても
らえる品質になった。

とはいえ、いまも溶
接は難しい作業とい
う。鉄をしっかりと溶け
込ませないと後工程で
割れる。特殊な材料の
溶接では、膨大な経験
から電流値を微調整す
る。プラント機器は受

調達課長として調達
を勉強後、2015年
の7月からは、溶接の
達人と言われる70代の
一人親方のところへ修
行に出た。井上社長は

「廃業するといふので
技能を継いでもらいた
い」と、兵庫県川西市
に事業所を設けて伝承
の場になっている。まず

は元木さんがレベルを
上げ「工場で働こう、
という若者に溶接の楽
しさを教えたい」と後
継教育にも意欲的だ。

（石橋弘彰）

（水曜日に掲載）